

令和7年度広島県農福連携セミナー開催要領

1. 開催の目的

農業と福祉が連携して、障害者の農業分野での就労の場を拡大し、福祉分野の所得向上及び農業分野での労働力不足の解消を図るには、農業経営体や障害福祉サービス事業所等をはじめ、市町やJA等関係機関、更には県民の理解と積極的な関与が重要である。

このため、農業経営体や障害福祉サービス事業所等が抱える農福連携に係る課題を共有し、優良な実践事例から、当該課題解決に向けた取組のヒントを得るとともに、本県における農福連携の気運の醸成を目的として、農福連携セミナーを開催する。

2. 開催日時

日時：令和8年2月26日（木）	13:00～16:00
(第1部) 県内事例発表（質疑を含む）	13:05～14:20
(第2部) 講演及び報告（質疑を含む）	14:30～16:00

3. 開催場所

はつかいち文化ホール ウッドワンさくらぴあ（廿日市市下平良一丁目11-1)
2階 小ホール（セミナー）及び1階 市民ホール（農福連携製品等の販売）

4. 開催内容

農福連携に係る施設外就労等の県内の優良取組事例を、障害者就労支援事業所側と農業経営者側の双方から紹介し、参加者の今後の取組への活用を図る。

また、社会福祉事業とまちづくり事業を先駆的・先進的に行っている社会福祉法人から講師を招き、農福連携の域を超えた農福商工連携による、地域活性化のための取組について講演を行う。

さらに、新たな農福連携の動きとして、令和6年8月に設立され、令和7年1月に広島県、竹原市、三原市及び東広島市と連携協定を締結した「農福コンソーシアムひろしま」が、地域共生社会の実現に向けた取組を報告し、これから農福連携についての学びの場を提供する。

加えて、障害者就労支援事業所等による製品の販売コーナーを設置し、広く農福連携の機運醸成を図る。

5. プログラム

（1）事例発表（20分×3事例）

県内の農業経営体及び就労継続支援事業所からの農福連携実践事例の発表

法人・事業所名及び発表者等	発表テーマ（予定）
社会福祉法人庄原さくら学園 青空 管理者・サービス管理責任者 藤本 裕樹 氏 (庄原市)	ブドウ園との出会い～その後
すずきエスニックファーム 代表 鈴木 隆之 氏 ㈱ビーンズ 就労継続支援B型 そらまめ宮内 サービス管理責任者 斎藤 康恵 氏(廿日市市)	農業経営者と就労継続支援B型事業所で 廿日市市の香辛料栽培をリードする
社会福祉法人ひとは福祉会就労センターあっぷ 施設長・サービス管理責任者 城崎 高治 氏 (安芸高田市)	地域の農業を支える就労継続支援B型事業所の 取組

(2) 講演 (60 分)

農福連携の視点からまちづくりを進めている石川県の社会福祉法人の後援者による講演

法人・事業所名及び講演者等	講演テーマ（予定）
社会福祉法人佛子園 理事 日本海俱楽部 施設長 竹中 誠 氏 <p>「Share 金沢」の創業に携わり、現在は、能登半島北部に位置する能登町にある「日本海俱楽部」の施設長を務める。</p> <p>「日本海俱楽部」では、障害者の就労支援を中心とした障害福祉サービスを行っている。</p> <p>また、地ビール製造、レストラン、牧場などを運営し、障害者の活躍の場を創り出している。農福連携の域を超えた農福商工連携によって地域特産品の開発、観光拠点の創出、雇用機会の創出等、地域活性化に貢献している。</p> <p style="text-align: right;">(石川県)</p>	これから農福連携～社会福祉事業とまちづくり

(3) 報告 (20 分)

農福コンソーシアムひろしまからこれからの取組について報告

法人・事業所名及び報告者等	報告テーマ（予定）
農福コンソーシアムひろしま 代表 伊藤 大悟 氏 (竹原市)	広島県における農福連携の新たな取組

※事例発表、講演及び報告の後に、それぞれ質疑応答の時間を設ける。

6. 参集範囲等

参加人数：約 150 名

参集範囲：農業経営者（認定農業者）、障害者就労支援事業所、JA広島中央会（各JA）、県内市町
担当者（福祉・農政）等

※参集範囲は、想定される参加者を記載しているもので、参加者を制限するものではない。

7. 主催等

主催：広島県（委託：一般社団法人広島県農業会議）

共催：廿日市市、公益財団法人広島県就労振興センター、農福コンソーシアムひろしま、広島県知的障
害者福祉協会

後援（予定）：法務省中国矯正管区、中国四国厚生局、中国四国農政局、中国経済産業局、広島県身体障
がい者施設協議会、広島県精神障害者支援事業所連絡会

8. その他

- セミナー内容を幅広く共有するため、後日、県ホームページで公開する。
- 入場料は無料。